

全国学力・学習状況調査（きめ細かい調査）から見える今問われている「学力」について

1. 実施日 平成 25 年 4 月 24 日（水）

- ・ 3 年ぶりに全国一斉に実施されることになった。（過去 2 年間は、府の学力テスト）

2. 実施教科 国語（A, B）、数学（A, B）

- A…主として「知識」に関する問題      B…主として「活用」に関する問題

3. 蹉跎中生の傾向（昨年度の府学力テストより）

- ・ 国語において、「読む力」は良好であったが、「書く力」には課題があった。
- ・ また、数学 A 問題、B 問題ともに良好であったが、A 問題の「資料の活用」では課題があった。
- ・ 英語については、良好な結果であるが、授業だけでなく、家庭学習の中でも「書く力」が身に付くようにすることが必要がある。

4. 今回の問題について

(1) 「きめ細かい調査」とは…

目的を達成するため、対象学年の全児童生徒を対象とした調査を実施するとともに、経年変化分析や経済的な面も含めた教育格差等のきめ細かい把握・分析が可能となるような調査を同時又は事後に一部追加で実施するなど従来の調査と異なる新たな調査として行う。

(2) 問題の傾向

国語

中学校国語では、さまざまな資料を参考にその内容を読み取ったり、自分の考えを説明したりする問題など（資料参照）、

数学

数学では、黄金比についてなど、資料から傾向を読み取って数学的に説明する問題など（資料参照）

近年、インターネットなどが普及し、個人が容易に情報発信でき、また、色々な情報を入手することが可能である社会において、情報を整理することや自分の考えを論理的に表現できるかを問う出題が多くみられた。

5. 今後必要な「学力」

- ・ 基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させ、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力その他の能力をはぐくむとともに、主体的に学習に取り組む  
（新学習指導要領が目指す学力）
- ・ 私たちの取り巻いている状況の厳しさを見極める力  
（例えば、東日本大震災からの復興、経済の見通し、日本の国際的な地位、社会の少子高齢化、あるいは環境・エネルギー問題）
- ・ 「グローバル化」その中で必要な「知的な力」

6. 公表について

時期は未定（昨年度は 8 月 8 日）